

令和6年度 国語 (50分)

注 意 事 項

1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。

2 この問題冊子は31ページである。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

3 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。

・①氏名欄

氏名を記入すること。

・②受験番号、③生年月日、④受験地欄

受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。

4 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。

5 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、

10

と表示のある解答番号に対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答 番号	解 答 欄				
10	①	②	③	④	⑤

6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。

7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

問題は、次のページから始まります。

国語

解答番号

1

24

1 東高校では、毎年九月に学園祭が開催される。例年、学園祭実行委員会が主体となった企画を実施しており、その成功のため、実行委員会本部役員である安藤さん、井上さん、上野さんの三人が話し合うことになった。次の【話合いの一部】は、三人の話合いの場面である。これを読んで、問1～問4に答えよ。

【話合いの一部】

安藤さん① 「それでは、実行委員会企画を成功させるための話合いを始めます。」

井上さん① 「まず、『実行委員会企画を成功させる』というのが、かなりほんやり^Aとしていますよね。個人的には実行委員の誰もが納得できるような企画を考えるのが大事ではないかなと思います。そうでないと方向性がバラバラになってしまいますし。」

上野さん① 「私はせっかくなら多少負担を強いる^Bことになっても、ある程度充実感を得られる大規模な企画にしたいです。」

井上さん② 「大規模な企画は達成感がありますよね。でも、おそらく委員の中には受験を控えている人や、当日は客として楽しみたいから、お手軽な企画で済ませたい人もいるんじゃないかな。昨年の巨大迷路の企画は人気がありましたけど、準備は大変な作業でした。」

安藤さん② 「みんなが納得して協力できるような方向性が示れば、大変でも頑張れるかもしれないですね。」

井上さん③ 「私は、やるからには人気企画投票一位を目指したいかな。閉会式での結果発表はいつも盛り上がるし。」

上野さん② 「そうそう、銀テープを降らしたりしてステージの演出を去年より派手にしたいですね。」

安藤さん③ 「残念だけど閉会式の計画は生徒会の担当ですよ。話が逸れてしまったから一度ここまでの意見をまとめましょうか。」

これをもとにして、話を先に進めましょう。」

井上さん④ 「やはり人気企画投票のように、目に見える結果を出せる企画なら、みんなが協力してくれて成功するんじゃないかな。」

安藤さん④ 「そうですね。頑張ったのに一位にならなければ後味が悪くなります。それよりも、それぞれの得意分野を生かして準備することができる企画の仕組みを考えてみるのはどうでしょう。」

上野さん③ 「あの、無理だと思って提案しなかったのですが、実行委員だけではなく、もっと多くの人たちに協力してもらおうのはどうでしょうか。一般生徒や先生たち、来場者の人たちや商店街の方にも手伝っていたら、カフェみたいなものを作ったら面白いと思うのですが。」

安藤さん⑤ 「要するに飲食店を外部の方も含めて参加型でやるということですね。いいですね。これまでも、他の学校行事では外部の方に協力してもらったことがあるので問題ないです。ただ、正式な手続きは必要ですが。」

井上さん⑤ 「当日の負担を分散できるし、何より今までの実行委員会にはない新しい企画ですね。お客様に調理を手伝ってもらうわけにはいかないの、お店のディスプレイ案を募集したり、お店で流すBGMを好きに選んでもらったりしてもいいかと思っています。」

上野さん④ 「それなら、商店街にお願いして、そのカフェで扱うメニューの提供に協力してもらったらどうでしょうか。商店街の商品を知るきっかけにもなると思いますし、商店街の方たちも賛成してくれると思います。」

井上さん⑥ 「フリーメッセージが書ける交流ボードを設置したらどうでしょう。様々な方とメッセージでも交流できたらいいんじゃないかな。今年の学園祭のテーマは『ボードレス』だし、学園祭のコンセプトにもびったりじゃないですか。」

安藤さん⑥ 「確かに『ボードレス』、つまり境界がないという意味だから、今回の学園祭にふさわしい企画と言えますね。」

井上さん⑦ 「上野さんの案なら実行委員かどうかだけでなく、先生と生徒、商店街と学校、いろんな境界線を跳び越えて交流できる企画になりそうですが、その分大規模な企画になり、係分担も細かくなってしまいそうで心配です。」

上野さん⑤ 「でも、だからこそ実行委員がそれぞれの得意分野を生かして担当するようにすれば、みんなが達成感を味わえるのではないのでしょうか。」

安藤さん⑦ 「さて、具体的に商店街の方に参加を呼びかけるにはどうすればいいでしょうか。」

上野さん⑥ 「実行委員会から、商店街の各店舗にメニュー提供と販売の協力依頼の文書を配るのはどうでしょうか。」

安藤さん⑧ 「いいですね。私が呼びかけのための『依頼文案』を作ってみます。生徒のみんなの気持ちが伝わるように学園祭のテーマを説明しておきましょう。それと、家庭科クラブの利用もあるので当日調理室が混雑しそうですし、調理方法の注意も入れましょう。」

井上さん⑧ 「今後のスケジュールや商品の価格についても記載した方がいいんじゃないかな。メニューによって大きな価格差が出ないよう、相談して調整したいですね。」

安藤さん⑨ 「では、案を作成したら、まず二人に確認してもらいますね。」

上野さん⑦ 「なんとか実現しそうですね。これならもっと早く提案すればよかったです。」

安藤さん⑩ 「とりあえず企画の土台は決まりましたね。細かな点を話し合って実行委員会の人みんなに伝えましょう。」

問1 傍線部A ほんやり B 強いる と同じ意味の言葉として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。 解答番号

は 1 . 2 。

A ほんやり

1

- ⑤ 平然 ④ 漠然 ③ 泰然 ② 敢然 ① 悠然

B 強いる

2

- ⑤ 強制する ④ 強化する ③ 強固にする ② 強調する ① 強力にする

問2

【話合いの一部】の空欄

には、ここまでの話合いの内容を安藤さんが次のようにまとめた発言が入る。次の空欄
るものの組合せとして最も適当なものを、ここまでの話合いを参考に、後の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

3

b

に入

現時点で共有している内容を整理すると、

a

であるとともに、

b

、ということになります。

a

- ア

実行委員の誰もが達成感を得られるような企画
- イ

東高校の校風を表現できるような企画
- ウ

一部の委員でも効率的に実施できるような企画

b

- ア

先生方や商店街の方々が参加できる企画にする必要がある
- イ

みんなが納得して協力してくれる企画にする必要がある
- ウ

実行委員会の伝統を踏まえた格式高い企画にする必要がある

- ⑤

a

ウ

b

ウ
- ④

a

イ

b

ウ
- ③

a

イ

b

ア
- ②

a

ア

b

イ
- ①

a

ア

b

ア

問3 【話合いの一部】における発言について説明したものととして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 4。

- ① 井上さん②は、他の委員の意見を根拠として、上野さん①に対する反対意見を述べている。
- ② 井上さん⑥は、上野さん④の意見の代案を示すことで、反対意見を述べている。
- ③ 上野さん⑤は、新たな懸念に対して、安藤さん④の意見を示すことで話合いを前に進めている。
- ④ 安藤さん⑦は、上野さん⑤の意見に対して、具体例を示しながら賛成意見を述べている。
- ⑤ 上野さん⑦は、安藤さんの話合いの進行に不手際があったことを批判している。

問4

話合いの後日、正式な手続きを経てイースト商店街振興組合に協力してもらえたことになった。次に挙げるのは、安藤さんが各店舗に配布するために作成した【依頼文案】である。この【依頼文案】を見た井上さんと上野さんが指摘した改善点として適当でないものを、後の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

5

【依頼文案】

令和6年5月10日

イースト商店街振興組合員各位

東高等学校 学園祭実行委員会

東高校学園祭について

新緑の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、来る9月14日(土)に東高校学園祭を開催いたします。今年の学園祭テーマは「ボーダーレス」で、「境界がない」という意味です。学園祭実行委員会では、学内外の境界を越えて様々な人と交流できるカフェとして、ボーダーレスカフェを開催したいと考えています。

そこで、イースト商店街の方にも是非ご参加いただきたいと考えています。メニューの提供と販売にご協力いただける場合には、下記の申込書にご記入の上、東高校の学園祭実行委員会にご提出ください。提出締切は7月22日(月)といたします。

ご不明な点等ございましたら、学園祭実行委員会までご連絡ください。
どうぞよろしくお願いいたします。

【今後の主な予定】

書類提出締切 7月22日(月) 5時まで

参加店への説明会 8月26日(月) 6時～

前日の準備 9月13日(金) 3時～

当日の準備 9月14日(土) 7時～

【問合わせ先】

東高等学校 学園祭実行委員会

〇〇〇-△△△-××××

(学校代表番号)

.....きりとり線.....

ボーダーレスカフェへのメニューの提供と販売に協力します。

店舗名 () 代表者氏名 ()

提供メニュー ()

販売価格 ()円

備考

[注意事項]

※調理は加熱行為(煮る、焼く、温める)のみ可能です。

※生ものは提供しないでください。

※販売価格は調整させていただく場合があります。

- ① 依頼の主旨が相手に正確に伝わるよう、標題を「学園祭でのカフェご協力をお願い」と具体的にした方がよい。
- ② 【今後の主な予定】の時間表記は、紛らわしいので「午前」「午後」を付けた方がよい。
- ③ 【問合わせ先】の電話番号は、個人情報に関することなので、削除した方がよい。
- ④ 販売価格については、金額を調整する場合もあるので、「販売希望価格」とした方がよい。
- ⑤ 調理室の利用調整をするために使用したい器具の希望を記入できるようにした方がよい。

2

鈴木さんのクラスでは、国語の時間に『情報通信白書』を読み取り、理解を深めるためにワークシートを使ってまとめた。次に挙げるのは授業で教材として用いた『情報通信白書の文章の一部』、鈴木さんが調べた『言葉の意味』、鈴木さんがワークシートへの記入にあたって調べた『情報通信白書に引用されていたグラフ』、鈴木さんが書いた『ワークシート』である。これらを読んで問1～問5に答えよ。

【情報通信白書の文章の一部】

情報過多の社会においては、供給される情報量に比して、我々が支払える^Aアテンションないし消費時間が希少となるため、それらが経済的価値を持って市場（アテンション・マーケット）で流通するようになる。こうした経済モデルは、一般に「アテンション・エコノミー」と呼ばれる。プラットフォームは、可能な限り多くの時間、多くのアテンションを獲得するため、データを駆使してその利用者が「最も強く反応するもの」を予測しており、プラットフォームの台頭によりインターネット上でもアテンション・エコノミーが拡大している。

インターネット上で膨大な情報が流通する中で、利用者からより多くのアテンションを集めてクリックされるために、プラットフォーム上では過激なタイトルや内容、憶測だけで作成された事実に基づかない記事等が生み出されることがあり、アテンション・エコノミーは偽・誤情報の拡散やインターネット上での炎上を助長させる構造を有している。

人は「自らの見たいもの、信じたいものを信じる」という心理的特性を有しており、これは「確証バイアス(Confirmation bias)」と呼ばれる。プラットフォーム事業者は、利用者個人のクリック履歴など収集したデータを組み合わせて分析(プロファイリング)し、コンテンツのレコメンデーションやターゲティング広告等^B利用者が関心を持ちそうな情報を優先的に配信している。このようなプラットフォーム事業者のアルゴリズム機能によって、ユーザーは、インターネット上の膨大な情報・データの中から自身が求める情報を得ることができる。

一方、アルゴリズム機能で配信された情報を受け取り続けることにより、ユーザーは、自身の興味のある情報だけにしか触れなくなり、あたかも情報の膜につつまれたかのような「フィルターバブル」と呼ばれる状態となる傾向にある。このバブルの内側では、自身と似た考え・意見が多く集まり、反対のものは排除(フィルタリング)されるため、その存在そのものに気づきづらい。

また、SNS等で、自分と似た興味関心を持つユーザーが集まる場でコミュニケーションする結果、自分が発信した意見に似た意見が返ってきて、特定の意見や思想が増幅していく状態は「エコーチェンバー」と呼ばれ、何度も同じような意見を聞くことで、それが正しく、間違いのないものであると、より強く信じ込んでしまう傾向にある。

フィルターバブルやエコーチェンバーにより、インターネット上で集団分極化が発生しているとの指摘がある。意見や思想を極端化させた人々は考えが異なる他者を受け入れられず、話し合うことを拒否する傾向にある。フィルターバブルやエコーチェンバーによるインターネット上の意見・思想の偏りが社会の分断を誘引し、民主主義を危険にさらす可能性もありうる。

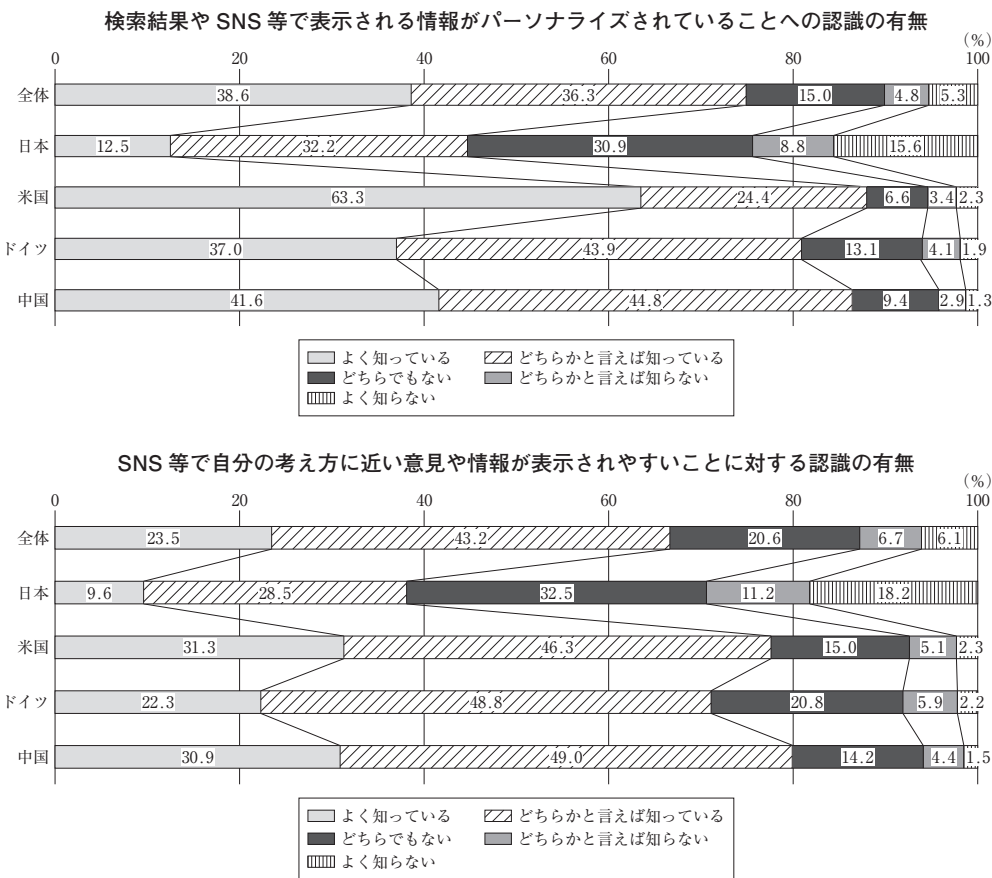
(総務省『令和5年版情報通信白書(PDF版)』

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r05/pdf/n2300000.pdf>による。)

【言葉の意味】

- アテンション……関心や注目。
- プラットフォーム……企業がインターネット上でビジネスを展開する際に、その基盤となるサービスやシステム(プラットフォーム)を提供または運営する事業者のこと。
- コンテンツ……インターネットやテレビ、紙などの^(ア)バイタイを通して伝えられる情報の内容のこと。
- レコメンデーション……^(イ)コキヤクにおすすめの情報を提供するサービスのこと。
- ターゲティング広告……インターネットにおけるユーザーの行動や登録情報をもとに、条件や範囲を指定することで自社の商品・サービスに関心がありそうな特定のユーザー層を狙って配信できる広告のこと。
- アルゴリズム……コンピュータプログラムを作るときに用いる、問題を解決するための手順・計算方法のこと。
- パーソナライズ……ユーザー一人一人の行動履歴や購買履歴などをもとにして、ユーザーの年齢や職業などの^(ウ)ゾクセイや興味関心事に合わせた情報を提供すること。

【情報通信白書に引用されていたグラフ】



(総務省『令和 5 年版情報通信白書(PDF 版)』
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r05/pdf/n2300000.pdf> による。)

【ワークシート】

わ か っ た こ と	と と こ こ た た べ え 調 考
(1) アテンション・エコノミーについて ・情報過多の社会において、人々のアテンション(関心や注目)や消費時間が経済的価値を持って市場(アテンション・マーケット)で流通するようになった経済モデル。プラットフォームの台頭によりインターネット上でもアテンション・エコノミーが拡大している。 ・プラットフォームはデータを駆使してその利用者が「最も強く反応するもの」を予測して配信している。 ・インターネット上で利用者からより多くのアテンションを集めてクリックされるために、過激なタイトルや内容、憶測だけで作成された事実に基づかない記事等が生み出されることがあり、アテンション・エコノミーは偽・誤情報の拡散やインターネット上での上を助長させる構造を有している。 (2) エコークエンバーについて ・エコークエンバーとは、SNS等で、自分と似た興味関心を持つ人たちが集まる場でコミュニケーションする結果、自分が発信したのと似たような意見が返ってきて、特定の意見や思想が増幅していく状態を指す。 ・エコークエンバーにより意見や思想を極端化させた人には、考えが異なる他者を受け入れられず、話し合うことを拒否するという傾向がある。	『情報通信白書』に引用されていたグラフによれば、事業者によって自分に合わせて操作された情報が配信されていることについて、「よく知っている」「どちらかと言えば知っている」と答えた人の割合は、米国では九割近くになるのに対し、日本では半数にも満たない。 また、自分の意見に近い情報が表示されやすいことについても、日本は他国に比べて認識している人の割合が低い。これは日本においてメディアリテラシーの向上が遅れていることを表している。私たちは、異なる情報源や視点に接することを心掛け、客観的に情報を評価する能力を養っていく必要がある。

問1 下線部(ア)～(ウ)に当たる漢字と同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。解答番号は 6 ～ 8。

(ア) バイタイ

6

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ① ショクバイとして用いられる物質。
② チケットは即日カンバイした。
③ 三年間で来客数がバイカした。
④ ささまざまな草花をサイバイする。
⑤ 裁判のバイシン員制度。

(イ) コキヤク

7

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ① 集合場所でテンコをとる。
② 倒れないように柵をコテイする。
③ 景気が良くなってコヨウが増える。
④ 部活動のコモンに相談する。
⑤ 申請書をコベツに審査する。

(ウ) ゾクセイ

8

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ① カイゾクが暴れまわる。
② ペットもカゾクの一員だ。
③ ゾクヘンを読むのが楽しみだ。
④ ミンゾク学を学ぶ。
⑤ プロのチームにショゾクする。

問2 下線部A 我々が支払えるアテンションないし消費時間が希少となる とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちか

ら一つ選べ。 解答番号は 9。

- ① 供給される情報量が多くなると、人々の関心や消費時間は限られた部分にしか費やすことができなくなること。
- ② 過剰に供給される情報量に比べて、一人一人の関心や消費時間の経済的価値は相対的にきわめて小さなものになるということ。
- ③ 人々の関心や消費時間が市場で流通する経済モデルの中では、情報を手に入れるために一人一人が支払える金額が小さくなるということ。
- ④ プラットフォーマーによって限定された情報にしか接することができなくなると、人々の関心や時間も限られたものになるということ。
- ⑤ 過激なタイトルや内容、憶測だけで作成された記事等が生み出されると、安心して関心を向けることができる対象が少なくなること。

問3 下線部B 利用者が関心を持ちそうな情報を優先的に配信している。 とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちか

ら一つ選べ。 解答番号は 10。

- ① 多くのユーザーが一斉に同じ反応をするような情報を配信することが経済的利益を生むから。
- ② 個々のユーザーからできるだけ多くの関心、多くの時間を獲得することが経済的利益を生むから。
- ③ 「自らの見たいもの、信じたいものを信じる」という確証バイアスに影響されない公平性が社会的に求められているから。
- ④ インターネット上の膨大な情報・データの中から必要な情報を探し出すことはユーザー自身には不可能だから。
- ⑤ 同じ興味・関心を持って集まった意見・思想の偏った集団の存在がプラットフォーム事業の経営には不可欠だから。

問4 「ワークシート」についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 11。

- ① 問題点を提示するきっかけとして【情報通信白書の文章の一部】の記述を引用しているが、意見の方向性としては【情報通信白書の文章の一部】が示したものと反対のものになっている。
- ② 【情報通信白書の文章の一部】の記述に沿って問題点を指摘しているが、「わかったこと」の部分に読みとった内容と自分自身の意見が混在している。
- ③ 事業者によって操作された情報配信については【情報通信白書の文章の一部】の内容を踏まえて問題として捉えているが、それらが社会に与える影響までは言及していない。
- ④ 「わかったこと」の用語の説明では【情報通信白書の文章の一部】の記述を引用しているが、問題となる状況が発生する原因については【情報通信白書の文章の一部】の内容を否定している。
- ⑤ 問題となる状況を生む経済システムについては【情報通信白書の文章の一部】の内容を踏まえて批判しているが、問題解決の具体策については述べていない。

問5 「ワークシート」の「調べたこと 考えたこと」には「情報通信白書に引用されていたグラフ」の情報がどのように利用されているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 12。

- ① 【情報通信白書の文章の一部】で指摘されている、思想を極端化させる人が増加傾向にあることが、日本だけではなく世界中の問題であることを示す根拠としている。
- ② 【情報通信白書の文章の一部】で指摘されている、インターネット上で集団分極化が発生していることについて、一般の人もその危機にさらされていることを示す根拠としている。
- ③ 【情報通信白書の文章の一部】で指摘されている、民主主義が危険にさらされているということに対して、日本の現状はその通りではないことを示す根拠としている。
- ④ 【情報通信白書の文章の一部】で指摘されている、偽・誤情報の拡散を助長させる現象について、多くの人がその危険性を知らないままにインターネットを利用して現状を示す根拠としている。
- ⑤ 【情報通信白書の文章の一部】で指摘されている、人々が特定の情報にしか触れなくなっている状況について、日本におけるメディアリテラシーの課題を示す根拠としている。

3

大谷さんは言語文化の授業で、能について調べる中で、能が、小説になったり、古典作品を題材にしていたりすることに気がつき、【レポート】をまとめた。【資料Ⅰ】～【資料Ⅲ】と【レポート】を読んで、問1～問4に答えよ。

問1 【資料Ⅰ】は、能「熊野」の台本の一部である。熊野は里下がりをしたいと思っているが宗盛に許されず、花見の宴に連れられていき、宴が始まった場面である。【資料Ⅰ】を読んで、後の(1)・(2)に答えよ。

【資料Ⅰ】

地謡(注1)

深き情なごけを人や知る(注2)常座へ行き、扇で酒を汲む。

(散る花を見るにつけても 思うは母の命わたくしの母を思う深い心を いったいだれが知ろうぞ。

シテ(注3)熊野

わらは酌に参り候ふべし(注4)ワキの前へ行き膝をつく。

わたくしが

ワキ(宗盛)

いかに熊野一さし舞ひ候へ。

地謡

深き情を人や知る(注5)立って、シオリをしつつ二ノ松へ行く(注6)。

〔中ノ舞〕

熊野は〔中ノ舞〕を舞う。

シテ(熊野)

(常座で右へ向いて)なうなう俄にはかに村雨Aのして、花の散り候ふはいかに(ワキへ向く)。
もうしもうし
花が散るではありませんか。

ワキ(宗盛)

げにげに村雨のして花の散り候ふよ。

シテ(熊野)

あら心なの村雨やな。春雨はるごめの(角へ行き扇をかざして空を見る)、
なんと心ない村雨であること。いやいや春雨の、

地謡

降るは涙か（面を伏せて左へまわる）、降るは涙か桜花（常座で扇を左手で水平に持ち）、散るを惜しまぬ人やある（散る桜の花を扇で受けつつ、中央へ出て着座する）。

降るのは花を惜しんでの涙であろうか、花を惜しんでの涙かと思われる桜の花の、散るのを惜しまない人はだれもないのだから。

〔注7〕（イロエ）（シテは袂^{たもと}から短冊を出し、扇を筆にして和歌を記し、開いた扇の上に短冊をのせて、ワキの前へ行き、ワキに

渡した後、中央へもどり着座する）。

ワキが短冊の歌を読みかけると、シテは下の句を読み、ワキのせりふを受けて、シテは正面へ合掌した後、地謡に合わせて舞い、常座で留める。

ワキ（宗盛）（短冊を左手に持つて）由ありげなる言葉の種、取り上げ見れば、いかにせん、都の春も惜しけれど、

シテ（熊野）馴^なれし東^{あづま}の花や散るらん（シオリ）。

ワキ（宗盛）げに道理なりあはれなり。はやはや暇^{いとま}取らするぞ東に下り候へ。

シテ（熊野）何御暇と候ふや（ワキへ向く）。

ワキ（宗盛）なかなかの事疾^とく下り給ふべし。

シテ（熊野）^Bあらうれしや尊やな、これ観音の御利生なり（正面へ合掌する）。

(注1) 地謡——謡曲の会話文以外の地の部分を、舞台の一隅でうたうこと。また、その謡およびその役の人たち。ここでは、シテ(熊野)の内面についてもうたっている。

(注2) 常座——能舞台で、奥の向かって左側の位置。

(注3) シテ——能の主役。

(注4) ワキ——シテの相手となる役。

(注5) シオリ——能の動作の一つ。うつむいて掌を目の前にかざし、涙を押さえる様子をする事。

(注6) ニノ松——能舞台の橋懸(能舞台に通じる道)の前面に植える三本の松の中央のもの。

(注7) イロエ——能の働事(演者の所作に囃子がつくもの)の一つ。主に女役のシテが静かに舞台を一巡するだけであるが、その後の舞などへの導入的な役割もある。

(1) 傍線部A 村雨 の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 13。

① 氷のように冷たく降る雨。

② 急に激しく降ってさっと通り過ぎる雨。

③ しとしとと長い時間降り続く雨。

④ 雨粒が霧のように細かい雨。

⑤ 雷を伴って激しく降る大粒の雨。

(2) 傍線部B あらうれしや尊やな とあるが、熊野のこのときの心情の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答
番号は 14。

- ① 宗盛が東国に同行してくれることを知り、宗盛の愛情を感じている。
- ② 宗盛から自分の詠んだ和歌を褒められ、観音への感謝を感じている。
- ③ 宗盛と花の美しさを味わう機会を得たことに、観音への感謝を感じている。
- ④ 宗盛から東国に戻ることを許可され、観音への感謝を感じている。
- ⑤ 宗盛の希望により都での滞在が延長されたことで、宗盛の愛情を感じている。

問2 次の【資料Ⅱ】は、【資料Ⅰ】をもとに書かれた小説である。【資料Ⅱ】を読んで、後の(1)・(2)に答えよ。

【資料Ⅱ】

酒がまわると、宗盛は上きげんになり、熊野にひとさし舞えという。酒盛りの相手をするだけでもつらいのに、このうえ舞うことは、身を切られる思いである。

深き情けを人や知る……

と歌いながら、熊野は涙をこらえて舞いはじめた。楽人が鼓を打ち、笛をかなでる。清水寺の舞台の上で、桜の精かと思まごうほどの美女の舞姿に、一同がうつとり見とれておるとき、時ならぬ村雨が降りだした。熊野はふと舞の手をとめて、見物に注意した。

「あら、急に雨が降ってきて、花を散らしておりますよ」

「ほんとうに雨が降ってきて、花を散らしているぞ」

みなが浮き足だっている中で、熊野は気もそぞろになって、心ない春雨が散らした花びらを、扇ですくいあげては歌っている。

春雨の

降るは涙か

桜花

散るを惜しまぬ

人やある

それは歌の詞が、そのまま舞の手ぶりになったような、美しくもあわれな姿であった。もしかすると、熊野は物思いが嵩じて狂乱したのではないか。そう思われるほど放心的に、あちらへ行き、こちらへ走っては落花をすくっていたが、やがて舞台の真ん中にすわって、なにごとか短冊にしたためている。そのようすを見て、宗盛はただごとではないと思い、短冊を取りあげてみると、こう書いてある。

いかにせん都の春も惜しけれどなれし東の花や散るらん

わたしはどうしたらいいのだろう。都の春も捨てがたいが、こうしている間にも、故郷の母は散ってゆくかもしれない、と。せっばつまった気持ちは、ついに宗盛を動かした。

「それほどに思っていたか、むりもない。ほんとうに気の毒なことをした。ただちにいとまをとらせるぞ。さっそく故郷へ帰るがよろう」

「なに、おいとまとおおせられますか」

「そうじゃ。そうそうに立つがよい」

「ああ、うれしや、うれしや、これこそ清水の観音さまのおかげ」

と、手を合わせる間もどかしく、宗盛の御前を立つ。

(白洲正子『能の物語』による。)

- (1) 傍線部C 気もそぞろに の【資料Ⅱ】における意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 期待にこたえようとして、緊張して。
- ② 自信がなくて、臆病になって。
- ③ 集中が続いて、いやになってきて。
- ④ どうでもよくなって、投げやりになって。
- ⑤ 落ち着かなくて、そわそわして。

- (2) 【資料Ⅱ】の内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

- ① 熊野は、この先もずっと都で宗盛の側に仕えていたいという思いを込めて舞を舞った。
- ② 酒宴の参加者は、舞台の上で舞う熊野に桜の精を重ね合わせその姿に酔いしれていた。
- ③ 宗盛は、熊野の舞で初めて熊野の母が危篤であることを知り熊野の帰郷を許すことにした。
- ④ 宗盛は、春雨が散らす花びらのように熊野を失いたくないと思い熊野の帰郷を許可した。
- ⑤ 熊野は、自分の気持ちを理解して故郷へ帰ることを許してくれた宗盛に心から感謝した。

問3 次の【資料Ⅲ】は、【資料Ⅰ】の題材である『平家物語』の本文である。なお、【資料Ⅲ】の「侍従」は、【資料Ⅰ】における「熊野」のことである。後の(1)・(2)に答えよ。

【資料Ⅲ】

―― 一の谷の戦いで捕虜となった三位中将(平重衡)は、鎌倉に向かう途中、池田の宿にある熊野の娘侍従の宿に泊まることになった。――

彼宿の長者熊野が娘、侍従がもとに其夜は宿せられけり。侍従、三位中将を見奉って、「昔はつてにだに思ひよらざりしに、今日かかる所にいらせ給ふふしぎさよ」とて、一首のうたを奉る。

旅の空はにふの小屋のいふせさにふる郷いかにこひしかるらむ

三位中将返事には、

故郷もこひしくもなしたびのそらみやこもつひのすみ家ならねば

中将、「やさしうも仕つたるものかな。此歌のぬしはいかなる者やらん」と御尋ねありければ、景時畏って申しけるは、「君は未だしろしめされ候はずや。あれこそ八島の大正殿の当国の守でわたらせ給ひ候ひし時、召され参らせて御最愛にて候ひしが、老母を是に留め置き、頻りに暇を申

せども給はらざりければ、ころはやよひのはじめなりけるに、

X いかにせむみやこの春も惜しけれどなれしあづまの花や散るらむ

と仕って、暇を給はつてくだりて候ひし、海道一の名人にて候へ」とぞ申しける。

(『平家物語』による。)

- (注8) 見奉ッて——「見奉りて」と同じ。
- (注9) 昔はつてにだに思ひよらざりしに——かつては人づてにさえ和歌を贈ることなどは思いもよらなかったのに。
- (注10) はにふの小屋——粗末な小屋。
- (注11) つひのすみ家——最後まで住むところ。
- (注12) 仕ッたる——「仕^{つかまつ}りたる」と同じ。
- (注13) 景時——人名。梶原平三景時。
- (注14) 八島の大政殿——人名。平宗盛。
- (注15) 当国の守——この国の国司。ここでは遠江^{とわじやうみ}の国の国司のこと。
- (注16) 海道一——東海道において第一の。

(1) 傍線部D 此歌のぬしはいかなる者やらんとあるが、中將がこのように言った理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ
 選べ。解答番号は 17。

- ① 相手の歌の新しい技巧に気づき、歌を詠んだ人物に直接和歌について聞きたいと思ったから。
- ② 相手の歌で挑発的な問いかけをされたことで、歌を詠んだ人物が何者かわかったから。
- ③ 相手の歌で自分の心を見透かされていることがわかり、歌を詠んだ人物が旧友だと気づいたから。
- ④ 相手の歌が思いがけず優雅なものであったため、歌を詠んだ人物に興味を抱いたから。
- ⑤ 相手の歌の言葉が優しく温かいものであったことで、歌を詠んだ人物に会いたいと思ったから。

(2) 【資料Ⅲ】の和歌X いかにせむみやこの春も惜しけれどなれしあづまの花や散るらむ について、次の(i)～(iii)に答えよ。

(i) 文法の説明として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 18。

- ① 「いかにせむ」の「せ」は、動詞の未然形である。
- ② 「みやこの春も」の「の」は、連体修飾の働きをする助詞である。
- ③ 「惜しけれど」の「けれ」は、過去の助動詞である。
- ④ 「なれしあづま」の「し」は、過去の助動詞である。
- ⑤ 「花や散るらむ」の「らむ」は、現在推量の助動詞の連体形である。

(ii) 「あづまの花」が指す人物として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 19。

- ① 老母
- ② 熊野
- ③ 八島の大巨殿
- ④ 三位中将
- ⑤ 景時

(iii) 和歌の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 20。

- ① 東国の花が散るか分からないことと、とるべき行動が分からなくなったことを重ね合わせている。
- ② 都の花が散ることと、故郷に帰る前に自分の命が尽きてしまうことを重ね合わせている。
- ③ 東国の花が散り尽くしたことと、会いたい人の命が尽きはてたことを重ね合わせている。
- ④ 都の花が惜しまれながら散ることと、三位中将に対する愛情がなくなることとを重ね合わせている。
- ⑤ 慣れ親しんだ東国の花が散ることと、故郷に残してきた人の命の危うさを重ね合わせている。

文化を考える 「能」レポート

◎能「熊野」と他の作品との関連

今回、能の「熊野」(【資料Ⅰ】)を調べている中で、他の作品と関連があることが分かった。

まず、能の「熊野」をもとに書いた、白洲正子『能の物語』(【資料Ⅱ】)という小説があることを知った。現代の言葉で分かりやすく表現されていて読みやすかった。また、それぞれの表現の特徴として、 という点があることも分かった。

次に、能の「熊野」は、古典作品である『平家物語』(【資料Ⅲ】)を題材としていることも分かった。使われている歌は共通しているが、能として演ずるにあたって内容をふくらませて作ってある点に興味をもった。また、能の「熊野」と『平家物語』の表現の特徴として、【資料Ⅰ】では、【資料Ⅲ】よりも人物の立ち位置や動作についての説明が具体的に記されているという点があると感じた。

一つの作品に、さまざまな作品が関わっていることを知ることができた。今後は、そういった作品相互のつながりという点からも考えていくと、より深い読みとりができるだろう。

【レポート】

問4 次の【レポート】は、【資料Ⅰ】～【資料Ⅲ】を読んだ大谷さんがまとめたものの一部である。空欄 に当てはまるものとして最も適当なものを、後の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 21。

- ① 【資料Ⅰ】では、「熊野」と他の人物との会話のやりとりだけで「熊野」の心情が表現されていないが、【資料Ⅱ】では、「熊野」の気持ちが直接的に表現されている
- ② 【資料Ⅰ】では、地謡やシテのセリフを通して「熊野」の心情が表現されているが、【資料Ⅱ】では、地の文で「熊野」の心情だけでなく「宗盛」の内面についても表現されている
- ③ 【資料Ⅰ】では、「熊野」の心情がワキのセリフを通して間接的に表現されているが、【資料Ⅱ】では、「熊野」の視点からその心情が主観的に表現されている
- ④ 【資料Ⅰ】では、地謡が中心となって「熊野」の考えていることを直接表現しているが、【資料Ⅱ】では、「宗盛」の視点から「熊野」の心情が客観的に表現されている
- ⑤ 【資料Ⅰ】では、「宗盛」の考えていることが地謡を通して表現されているが、【資料Ⅱ】では、「熊野」の視点から「宗盛」の考えていることが間接的に表現されている

4

次の文章を読んで、問1～問3に答えよ。

晋公子重耳、出亡過曹無礼焉。釐負羈之妻、謂釐負羈曰、「君無礼於晋、

公子。吾觀其從者、皆賢人也。若以相夫子反晋国、必伐曹。子、何不先加徳

焉。」釐負羈、遺之壺餒、而加璧焉。重耳受其餒、而反其璧。及其反国、起師

伐曹、慰之。令三軍、無入釐負羈之里。

（『淮南子』による。）

（注1） 晋——国名。

（注2） 重耳——人名。後に晋の文侯となる。

（注3） 曹——国名。

（注4） 釐負羈——人名。曹の大夫の役職に就いていた。

（注5） 壺餒——壺に入れた食物。

（注6） 璧——宝玉。

（注7） 三軍——大軍。

問1

傍線部A 過

とあるが、ここでの意味と最も近い意味を持つ「過」を含む熟語を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

22

①

過激

②

過失

③

過誤

④

過信

⑤

過客

問2

傍線部B

若以相夫子反晋国、必伐曹。

の書き下し文として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

23

。

①

夫子を相くを以て若晋国に反ること、必ず曹を伐つなり。

②

若し以て夫子を相けて晋国に反らば、必ず曹を伐たん。

③

以て夫子を相くがごとく晋国に反り、必ず曹を伐たん。

④

夫子を相くを以て晋国に反れば、必ず曹を伐つに若くなり。

⑤

若き夫子を以て相け晋国に反るがごとく、必ず曹を伐つ。

問3 傍線部C 令三軍、無入釐負羈之里。とあるが、このようにした理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選

べ。解答番号は 24。

- ① 釐負羈の礼節を忘れなかったかつての態度に重耳が報いようとしたから。
- ② 晋の国力を見抜く能力を備えた釐負羈と彼の妻の報復を恐れたから。
- ③ 重耳が単独で璧を返却するために釐負羈の郷里を訪問しようと考えたから。
- ④ 璧を取り戻すために重耳自ら釐負羈の郷里に攻めこもうとしたから。
- ⑤ 曹への攻撃に専念したために、釐負羈の郷里に攻めこむ余力がなかったから。

